

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 住友化学株式会社（証券コード:4005）

### 【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	安定的
債券格付	A +
発行登録債予備格付	A +
国内C P 格付	J - 1

### 格付事由

- 総合化学大手。医薬品や農薬などで収益性の高い有力製品を抱えるほか、ディスプレイ関連材料では豊富な実績や先端技術に強みを有する。また、需要が成長しているEV向けLiB用セパレータでは、有力電池メーカーを主要顧客とする。近年の事業構造改革で、これらスペシャリティケミカルのウエートが向上した。バルクケミカルは国内事業の規模は縮小したが、サウジアラビアにおけるペトロ・ラービグの取り組みなどを通じ、世界的な潮流変化を見据えた事業体制の強化が進展しつつある。
- 収益は好調に推移している。事業構造改革の効果に加え、内外の良好な事業環境が追い風となっている。主力医薬品の特許切れが近付いている点は今後、収益面の制約となるが、事業および地理的分散の効いたポートフォリオを背景に、引き続き、底堅く収益を確保していけよう。持続的な成長に向け、投資は再度、積極方針に転じている。ただ、投資規律遵守の方針に変更はなく、当面、財務構成は安定した水準を維持できるとJCRでは想定している。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 18/3期会社計画では営業利益1,850億円と、2期ぶりの最高益更新を予想する。経常利益は2,150億円と初めて2,000億円台に乗る見通し。飼料添加物の市況低下が響くが、全セグメントが増収増益となり収益を押し上げる予想。また、石油化学の海外合弁会社の好調などもサポート要因となる見込み。ブロックバスターとなった「ラツェダ」（非定型抗精神病薬）は、19年初めに米国での独占販売期間が満了する。この対応やペトロ・ラービグの操業安定化、先端分野の一層の競争力強化などが当面の課題である。
- 財務構成は安定した状態に回復している。有利子負債は10年代前半に1兆円台で高止まりしていたが、投資案件の厳選や資産効率改善の取り組みなどを背景に、現在は8,000億円台に圧縮されている。DER（自己資本ベース）は12/3期末の2.17倍から、18/3期第2四半期末では0.99倍と1倍未満に低下した。成長投資の活発化で、有利子負債は19/3期末にかけて1兆円近くにまで増加する可能性が示唆されている。ただ、当面、堅調な収益推移が予想され、自己資本も拡充が進むと考えられる。

（担当） 湊岡 由典・藤田 剛志

### 格付対象

発行体：住友化学株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2008年4月22日	2018年4月20日	1.76%	A+
第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2008年12月22日	2018年12月21日	2.10%	A+
第41回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2009年10月20日	2019年10月18日	1.64%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 43 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	350 億円	2010 年 4 月 23 日	2020 年 4 月 23 日	1.58%	A+
第 45 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2011 年 10 月 28 日	2021 年 10 月 28 日	1.22%	A+
第 47 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 6 月 12 日	2020 年 6 月 12 日	0.984%	A+
第 48 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400 億円	2013 年 6 月 12 日	2018 年 6 月 12 日	0.623%	A+
第 49 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 4 月 25 日	2024 年 4 月 25 日	0.944%	A+
第 50 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 4 月 25 日	2021 年 4 月 23 日	0.567%	A+
第 51 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 4 月 25 日	2019 年 4 月 25 日	0.344%	A+
第 52 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 1 日	2036 年 9 月 1 日	0.850%	A+
第 53 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 1 日	2026 年 9 月 1 日	0.300%	A+
第 54 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 9 月 1 日	2023 年 9 月 1 日	0.200%	A+
第 55 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 9 月 13 日	2037 年 9 月 11 日	0.880%	A+
第 56 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2017 年 9 月 13 日	2027 年 9 月 13 日	0.380%	A+
第 57 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 9 月 13 日	2024 年 9 月 13 日	0.240%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000 億円	2016 年 6 月 17 日から 2 年間	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,800 億円	J-1

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017 年 11 月 8 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典  
主任格付アナリスト：湊岡 由典
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「化学」（2012 年 3 月 26 日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 住友化学株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、

独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

#### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

#### 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

#### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<http://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル